

各位

会社名 アイサンテクノロジー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
 (JASDAQ コード番号：4667)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
 (TEL 052-950-7500)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月7日の2021年3月期第1四半期決算発表時に開示した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想ならびに配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,700	百万円 470	百万円 460	百万円 322	円 銭 58.09
今回修正予想(B)	3,585	240	238	170	30.67
増減額(B-A)	△1,115	△230	△222	△152	—
増減率(%)	△23.72	△48.94	△48.26	△47.20	—
(参考)前期連結実績 (2020年3月期)	4,300	482	495	333	60.09

(2) 修正の理由

2021年3月期は、新型コロナウイルスの感染症拡大に係る影響に大きく左右された1年となりました。2021年3月期の業績予想及び配当予想を開示した2020年8月時点では、緊急事態宣言も解除され、感染症拡大の影響も徐々に小さくなる前提にて公表しました。しかし、その後は感染症の再拡大等もあり、2021年1月には、緊急事態宣言が首都圏をはじめ複数の地域で再宣言される事態に至りました。

また、海外も、現在に至るまで一部地域でロックダウンが行われる状況が続いております。その結果、測地ソリューション事業においては、商談スピードの低下と共に、お客様の投資意欲が抑制され、想定した受注の獲得が年度末に掛け大きく伸びませんでした。

G空間ソリューション事業においても受注予定の国内自動運転に係る実証実験が延期や中止になり、商談中の各案件についても延期または一旦凍結に向かう傾向が鮮明になりました。加えて、海外渡航の制限を受け、海外での案件も翌期以降に先送りとなりました。このような状況を受け、様々な拡販策を投入しましたが、前述の挽回には至りませんでした。

一方で、新常态を新しい働き方活動から経費は計画より大きく削減されましたが、当社グループの中期的な成長を目的とした投資は、継続し実施したことで、販売管理費は増加し営業利益を押し下げ、各利益項目において当初の計画を下回る予想となりました。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容(2021年3月期)

基準日	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	0.00	—	16.00	16.00
今回修正予想				13.00	13.00
当期実績		0.00			
前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	18.00	18.00

※前期実績(2020年3月期)の期末配当における1株当たり配当額には、創立50周年記念配当相当の2円を含めております。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における最重要課題として位置づけております。当社における株主還元の基本方針は、「株主様に対して、業績に従った成果配分を安定的に実施していく」こととしております。配当金については、毎期の経営成績、新中期経営計画の達成を目指した投資計画、内部留保の状況などを勘案し、連結配当性向25%から30%を目標に、安定的・継続的に配当を行うよう努めることを方針としております。

当期の期末配当予想につきましては、「1. 当期の通期連結業績予想数値の修正」の通り、修正の主たる要因であるコロナウィルス感染症による影響、中長期的な成長を目的とした投資に伴う販売管理費の増加などの要因を鑑みみるとともに、現在の内部留保の状況も考慮し、前回公表しております1株当たり16円から同13円に修正させていただきます。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上